

平成25年度志木市ふれあいミーティング 開催記録

- 1 日時 平成25年11月14日（木） 午後4時30分～午後6時
- 2 場所 まちのえんがわ しっキーずステーション
(柏町4-3-79-101)
- 3 団体名 特定非営利活動法人 志木総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブ (NPO法人 クラブしっキーず)
- 4 参加者 20人



5 内 容 次のとおり

1) 参加者自己紹介

2) 団体の概要及び活動内容等の紹介

3) 議 題

① NPO法人運営上の課題

◎ ボランティアの組織化

- ・ 文字にするとスラリと一行であるが、プログラム参加者の楽しさを追求しつつ進めるのは容易ではない。

◎ 法人経営に必要な財源確保

- ・ 会員収入（会費収入）は、250,000円程度
その他は、事業参加費、委託料及び埼玉県からの事業費補助（共助社会づくり支援事業）が主な財源となっている。
⇒ 組織を維持するためには、委託事業の継続実施など何らかの支援（補助）が必須である。

◎ 事業を展開するための資格等の習得

- ・ 現在、「明日備場（あすびば） うたのえき」（高齢者から子育て世代、そしてその子どもなど幅広い異世代が集まり、昔から唄われてきている歌を歌うことで、コミュニケーションを図る事業）事業を実施しているが、その事業実施のための資格所持者（音楽回想療法士）が1人であることから、効果的な事業展開が図れない状況にある。
これを改善するためには、他のスタッフにも資格を取得させる必要があり、その費用の確保・捻出が課題となる。

② 次年度（平成26年度）の方向性をふまえた協働のかたち

ア 介護予防

- ・ オープンモーニング（高齢者ふれあい課委託事業）
天神社、富士下橋付近、寶幢寺等を会場とした高齢者向け事業
※男性参加者の増加を求められている。

イ 三世代交流

- ・ 平成26年度4月～9月までを実施予定（高齢者ふれあい課委託

事業) → 高齢者ふれあい課に見積書を提出済み

地域複合センターもくせい内カフェランチルーム志木四小を会場に、月2回(土曜日PM、日曜日AM)計12回実施予定

ウ 放課後子ども教室

- ・毎週水曜日 16:00~18:00 まで実施している「アフタヌーン」事業を志木第三小学校児童対象の放課後子ども教室として検討できないか?

エ 子どもの体力づくり・自然体験

- ・「柏城忍者隊」と「只見自然塾」をスクールとして実施している。市内8校小学校に向けて広報したいが、難しい現状がある。自然塾については、場所や交通費等の関係から「只見」は休止し、内容を大幅に変更しての実施を考えている。

(4) 意見交換・質疑応答

(…参加者の皆さんからのご意見・ご質問など …市長コメント)

- 運営費等の財源確保の関係から、事業実施及び参加者の固定化を図らなければならないが、なかなか広くPRすることができません。そのため、小学校等での事業周知・PR(児童・生徒に事業案内配布)を望んでいるが、学校側の許可範囲は、廊下の隅にチラシを置く(スポーツ少年団加入と同じ扱い)程度であります。もう少し、学校側の協力を仰ぐことはできないか?
- 学校内における事項は、ほとんどが学校長の裁量によるものでありますが、調整する余地はあるのではないかと。
- 八ヶ岳自然の家を会場として、子ども・シニア向けの事業を実施していますが、大自然で澄みきった環境の中での事業に参加者から好評を博しています。しかし、施設は安価であるものの交通手段となるバス代が高額なため、参加費の設定が割高になってしまう。現在、市のバス補助は、1団体に対し年1回です。これを1事業に対しての補助には出来ないか?
- 「元気の出るまちづくり報奨金」制度は、バス借上げ料の1/2で、限度額40,000円までの補助をさせていただいています。限られた財源を様々な団体に有効に使っていただくために、このような規定になっていますので、ご了解いただきたい。

- 今の子どもたちは、自主的な遊びができず、放課後の居場所が無くなってきています。学童保育クラブには指導員がおり、様々な指導を受けているが、それ以外の子どもたちは、どうしたらよいか？
- 私は、全ての小学校に「放課後子ども教室」等の設置を考えています。出来ることなら、放課後の学習指導をする場まで広げていきたいとも思っています。とりあえず、「放課後子ども教室」を「しっキーず」で実施することは、可能なのか？
- 「しっキーず」には、クラブメンバーの中に元教師や保育士等が数多くいる。要望があれば、それに応えることは十分可能です。ただ、市の事業を拡充する過程での話として検討していただきたい。
- 実施が可能であるのならば、現在は予算編成中なので、担当部・課と至急調整を図りたい。

- スムーズに事業を実施するためには、「りんくす」、「しっキーず」と「市担当課」での、協議・調整の場を設定していただくことが望ましいと思われます。
- 調整等を進めたい。

- 平成25年4月からNPO法人の認証等の事務が埼玉県から志木市に権限委譲されたので、市にもNPO法人に対する、さらなる支援を望みます。

- 長年に渡る多世代型の活動に真摯な姿勢で取り組んできたことを評価されていると実感しました。

- 研究者である自分からみても、総合型クラブがまちづくりまで担っているのは、全国的にみても先進的な事例であると思います。